



# 建交労



2024年1月29日

かながわけんなんしふ

建交労神奈川県南支部

2024年春闘No.5

2023年度推進ニュース⑫通算322号

発行責任者 小島 茂

## 今年も川崎大師大門前で宣伝行動実施！ 執行委員＆合同分会でビラ400枚+α配布

1月27日（土）、神奈川県南支部は昨年につき初詣客でにぎわう川崎大師の山門（大門）前で新春宣伝行動を実施しました。今回の行動に参加したのは小島執行委員長、金崎書記長、佐藤執行委員、須田執行委員、赤羽特執に加えて川崎大師の近くに在住されている合同分会の益山さんが参加をされ6名での行動となりました。

暖かい日差しがあふれる快晴の土曜日ということもあってか、1月も終わろうかという時期にもかかわらず両脇に土産物店が軒を連ねる表参道か



建交労のぼり旗を抱えてビラを配る小島委員長



ら露天商のテントがところ狭しと並ぶ境内まで参拝客の人波は後を絶ちません。

通常の月におこなっているJR川崎駅前での宣伝行動でも宣伝物の受け取りはきわめて良好ですが、川崎大師門前での受け取りはさらに輪をかけて順調です。この日に準備した宣伝物のテッシュ付ビラ400個と40個ほどのマスクはたちまち配布し切ってしまいました。

宣伝行動のあとは、記念写真（左）を撮り、参拝をして神奈川県南支部の組織拡大強化と要求前進を祈念し、近くの食堂で昼食を摂り、午後からの執行委員会に臨みました。

## 勤通大基礎理論コース・スクーリング on-line に参加！

勤労者通信大学は、昨年9月29日、11月20日、2024年1月25日の3回にわたって基礎理論コースのスクーリング（オンライン）を開催しました。

神奈川県南支部からは、小島委員長（9月29日と11月20日）、佐藤執行委員（9月29日）、赤羽特執（9月29日と今年1月25日）が参加をしました。

右の写真は1月25日に開催したスクーリングのモニター

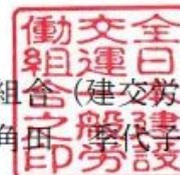


2024年1月11日

建交労県本部委員長 殿

建交労支部委員長 殿

全日本建設交運一般労働組合(建交労)  
中央執行委員長 角田 孝代



## 「令和6年能登半島地震」被災者支援カンパのよびかけ

全国で奮闘されている建交労のみなさんに呼びかけます。

本年1月1日の夕方4時過ぎに発生した令和6年能登半島地震(能登半島地震)は、M7.6・最大震度7を記録しました。地震発生直後には能登方面の日本海沿岸部で津波が襲いかかり、家屋などが水没し、人的被害を与えました。

石川県では死者202人、安否不明者323人、県内避難所約400ヶ所には約26,000人が身を寄せています。(1月9日現在)その内、珠洲市内、能登町、七尾市に居住する建交労石川県本部に結集する北陸ダンプ支部(1名)、北信越労職支部石川分会(41人)が家屋の全壊、半壊、一部損壊などの被害を受けています。石川分会の組合員1人が亡くなっています。石川県本部の石田直道委員長は分会員たちの状況把握の為に5日から現地入りをしています。

建交労は、被災された仲間と住民の皆さんに心からお見舞い申し上げるとともに今後できる限りの支援をしていくことにします。

1月5日石川県労連内に「支援対策本部」を設置し、全労連は1月10日に“「令和6年能登半島地震・対策支援募金」のとりくみを開始しました。今後現地の状況を掌握したうえで、支援物資の搬入やボランティア派遣など具体的な支援活動を全国的にすすめる方針を確認しました。

建交労は、全労連の確認・提起を受けて「能登半島地震」被災者支援カンパのとりくみを10日に開催した常任執行委員会で確認し、全国の仲間に協力を呼びかけます。各組織の積極的な対応をお願いします。

集約した救援カンパは、以下の金融機関の口座に振り込んでください。

**お手数ですが、振り込みした組織は必ず、メールかFAXで別紙用紙にて随時お知らせ下さい。**

以上

### 【振り込み先】

中央労働金庫新宿支店(普通) 3731711

(名義) 建交労中央本部

### \* 【郵便振替】

(口座番号) 00180-3-25195

(名義) 建交労

振込用紙に「震災カンパ」と記入してください

上記へ支援カンパを振り込んだ分会・班及び組合員は神奈川県南支部にご報告ください。